

蛭川はナカに突き挿したまま♡私のシャツの

あわせ

衿をぶちぶち引きちぎり、下に着ている下着

をまくりあげ^{じか}直に両乳^{いじ}首を弄ってきた♡♡

「ひいいいいい……ッッ！♡♡♡」

「こら♡そんなにきゅん♡きゅん♡締めたら、
赤ちゃんできちゃうよ♡」

「!?んおッ♡♡」

「絶対チンポ抜いてあげないけど♡」

「んうっ♡ひ…っ♡♡ぬけ……っ♡ぬけえ…
……っ♡」

さすがに我に返り、抵抗しようとするも手足
に力が入らない♡蛭川のチンポから逃げよう
と腰を浮か^{かえ}したことで♡却ってみずから結合

部を突き出し♡ねだるような動きになってしまふ♡♡♡

「ひう…っ♡ううう…ッ♡」

濡れた内壁が硬いチンポに擦れあうのがつらい♡♡抜き挿しされまくった肉洞は、わずかな刺激も淫楽として拾い上げるほど過敏になっている♡♡♡

「腰♡揺れてるよ……？♡」

「ひい…っ♡♡んう…ッ♡♡」

言われながらカリカリカリッ♡♡爪で両乳首をかすめられ♡——キュンッ♡キュンッ！♡おまんこを締めながら頭がおかしくなりそうな悦楽に^{かぶり}頭を振る♡